



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月14日

上場会社名 マルシェ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 洋嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 藤原 徹二

TEL 06-6624-8100

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,178	158.6	△228	—	△214	—	△325	—
2022年3月期第2四半期	842	△56.4	△735	—	16	—	5	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△40.49	—
2022年3月期第2四半期	0.72	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,832	—	324	—	—	8.5
2022年3月期	4,030	—	650	—	—	16.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 324百万円 2022年3月期 650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,845	184.3	△226	—	△209	—	△398	—	△49.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,550,400 株	2022年3月期	8,550,400 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	522,110 株	2022年3月期	522,110 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	8,028,290 株	2022年3月期2Q	8,028,290 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	8
〔参考〕業態別出退店の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかわる行動制限が緩和されたことにより人流が増加し、個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、7月以降、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大により、消費行動には自粛の動きがみられ、海外情勢や円安の進行に伴う物価高騰などもあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、特に規制のない状況の中で、来店客数には回復の兆しが見られつつありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大による消費者の活動の停滞や、物価上昇、労働力不足の深刻化等、事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

コロナ禍での生活習慣の変化により、居酒屋業においては制限緩和後も平日や深夜時間帯での集客の低迷が続いております。

このような状況の中、当社は営業活動におけるキーワード「人・美味しさ・楽しさ」に「かわる」を加え、2022年9月の八剣伝メニュー改訂において、「高品質メニューの販売」を開始、八剣伝の新名物「八から鍋」や高品質な国産サーモン「信州サーモン」の導入を行いました。さらに、SDGs「持続可能な開発の推進」として、サステナブル鶏「純和鶏」を使用したプレミアムやきとり「純和鶏もも焼」の販売を開始いたしました。また、環境に対する取り組みから、プラスチック製品の使用削減を目的とした「バイオマスレジ袋」をグループ全店で導入いたしました。八剣伝の特長である炭火焼調理のメニューを全面的に訴求し、中食市場へのアプローチとして、テイクアウト販売「街の焼鳥屋さん」の併設を促進する事で業態価値の向上に努めております。また、餃子食堂マルケンの推進においては、ランチ営業とテイクアウト・デリバリー販売の推進をはかり、新たな顧客層の獲得に取り組んでまいりました。

このような取り組みを行った結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高は2,178,754千円（前年同期比158.6%増）、営業損失は228,580千円（前年同期は営業損失735,886千円）、経常損失は214,954千円（前年同期は経常利益16,234千円）、四半期純損失は325,077千円（前年同期は四半期純利益5,799千円）となりました。

【当第2四半期の業績の概況】

	前第2四半期 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	当第2四半期 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	対前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高 (百万円)	842	2,178	1,336	158.6
営業損失 (△) (百万円)	△735	△228	507	-
経常利益又は経常損失 (△) (百万円)	16	△214	△231	-
四半期純利益又は四半期純損失 (△) (百万円)	5	△325	△330	-
1株当たり四半期純利益又は1 株当たり四半期純損失 (△)	0円72銭	△40円49銭	△41円21銭	-

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

(単位：百万円)

	2022年3月期末	当第2四半期末	増減
資 産	4,030	3,832	△198
負 債	3,380	3,507	126
純 資 産	650	324	△325
自己資本比率 (%)	16.1	8.5	△7.6

当第2四半期会計期間末におきましては、主に現金及び預金45,263千円の減少、未収入金166,283千円の減少等により、総資産が前事業年度末に比べ198,538千円減少し、3,832,238千円となりました。

負債は、主に買掛金92,238千円の増加、資産除去債務73,008千円の増加等により、前事業年度末に比べ126,836千円増加し、3,507,485千円となりました。

純資産は、主に四半期純損失の計上により325,375千円減少し、324,753千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年11月14日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、重要な営業損失、経常損失及び当期純損失を前事業年度に引続き計上したことから、現時点においては継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

しかしながら、当社の当第2四半期末の現金及び預金の残高は2,343百万円であり、複数の金融機関等から資金調達を実施した後も継続した借入により当面の資金を確保しており、重要な資金繰りの懸念はありません。従って、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

尚、当該事象または状況の解消のため、コスト圧縮等の対策を実行すると共に、既存店舗に本格的な中食市場へのアプローチ「街の焼鳥屋さん」の併設、既存事業の再構築、デリバリーサービスの強化等により売上拡大と利益確保を目指してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,388,898	2,343,634
売掛金	182,971	236,130
商品及び製品	25,501	29,609
原材料及び貯蔵品	29,044	29,985
未収入金	266,208	99,924
その他	57,285	63,560
貸倒引当金	△2,203	△2,887
流動資産合計	2,947,705	2,799,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	424,348	378,582
土地	149,366	149,366
その他(純額)	52,091	46,167
有形固定資産合計	625,805	574,115
無形固定資産	28,872	72,324
投資その他の資産		
差入保証金	373,848	318,598
その他	74,994	87,160
貸倒引当金	△20,449	△19,918
投資その他の資産合計	428,394	385,840
固定資産合計	1,083,072	1,032,280
資産合計	4,030,777	3,832,238
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,516	267,755
短期借入金	1,800,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
賞与引当金	25,795	25,466
株主優待引当金	56,004	14,388
資産除去債務	6,186	90,279
その他	352,127	391,801
流動負債合計	2,475,630	2,649,691
固定負債		
資産除去債務	106,893	95,807
長期借入金	415,000	385,000
その他	383,125	376,985
固定負債合計	905,018	857,793
負債合計	3,380,648	3,507,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,530	100,000
資本剰余金	1,619,390	3,029,920
利益剰余金	△2,030,078	△2,355,156
自己株式	△453,378	△453,378
株主資本合計	646,462	321,384
評価・換算差額等		

その他有価証券評価差額金	3,666	3,368
評価・換算差額等合計	3,666	3,368
純資産合計	650,128	324,753
負債純資産合計	4,030,777	3,832,238

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	842,585	2,178,754
売上原価	375,258	846,561
売上総利益	467,326	1,332,192
販売費及び一般管理費	1,203,213	1,560,773
営業損失(△)	△735,886	△228,580
営業外収益		
受取利息	340	203
受取配当金	251	283
受取家賃	3,526	4,979
雇用調整助成金	169,208	-
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	579,260	9,411
賃貸収入	2,986	2,892
その他	3,481	7,138
営業外収益合計	759,053	24,909
営業外費用		
支払利息	5,908	11,059
その他	1,024	223
営業外費用合計	6,932	11,282
経常利益又は経常損失(△)	16,234	△214,954
特別利益		
固定資産売却益	1,356	3,029
資産除去債務戻入益	-	7,851
特別利益合計	1,356	10,881
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	0	0
減損損失	-	104,258
特別損失合計	0	104,258
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	17,590	△308,331
法人税等	11,791	16,746
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,799	△325,077

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月25日開催の定時株主総会決議に基づき、2022年7月1日に無償減資を行いました。この無償減資等の結果、当第2四半期累計期間において資本金が1,410,530千円減少、その他資本剰余金が1,410,530千円増加し、当第2四半期会計期末において、資本金は100,000千円、その他資本剰余金は2,213,193千円となっております。

3. 補足情報

[参考] 業態別出退店の状況

		前事業年度					当第2四半期				
		自 2021年4月1日					自 2022年4月1日				
		至 2022年3月31日					至 2022年9月30日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	
	増減数					増減数					
直 営 店	酔虎伝	5	3	-	8	3	8	-	2	6	△2
	八剣伝	49	1	1	49	-	49	-	2	47	△2
	居心伝	6	-	1	5	△1	5	-	1	4	△1
	串まん	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-
	八右衛門	4	-	-	4	-	4	-	-	4	-
	焼そばセンター	7	-	3	4	△3	4	-	-	4	-
	マルケン	25	4	1	28	3	28	-	1	27	△1
	その他	4	2	-	6	2	6	-	-	6	-
小計	101	10	6	105	4	105	-	6	99	△6	
F C 加 盟 店	酔虎伝	10	-	-	10	-	10	-	-	10	-
	八剣伝	228	2	15	215	△13	215	2	6	211	△4
	居心伝	7	1	2	6	△1	6	1	1	6	-
	その他	16	-	2	14	△2	14	-	-	14	-
小計	261	3	19	245	△16	245	3	7	241	△4	
合計	362	13	25	350	△12	350	3	13	340	△10	